

## 第1回 記帳学習会を開催

「自分で経営の数字は  
知っておきたい」

12月8日、午後1時半から民商事務所で記帳学習会を開催し、女性4名が参加しました。普段、帳面付けやパソコンで入力をしている方々です。そのうち親子でお店の開業に向けて記帳を学ぼうと参加しました。

はじめに、青木県連事務局長から「簿記とは」「決算書とは」「貸借対照表と損益計算書」「仕訳」について説明がありました。



参加者は「簿記は全く分からないから参加した」「パソコンで入力していても仕訳が分からない部分が出てくる。こういう時はどう仕訳入力をしたらいいのか」と気になってきた質問や、資料や黒板を見ながら、メモをとり真剣に説明を聞き学習をしていました。

学習会終了後も、参加者からは「個人事業の時の帳面は自分なりにしてきたが、今回から法人化したので、法人だと個人の時と色々違うのかなと思って今日参加した」「税理士に全部を任せてしまうと本来に経営の中身が分からなくなる」「それが嫌だから自分でやっている。事務員さんを雇って任せてしまえば流れや状況も分からなくなる」などの話が尽きませんでした。

青木県連事務局長は「今は会計ソフトで決算書もできて、申告書もできるソフトもある。自分で数字を把握しておいた方が良いでしょう、自分で帳面付けすることが一番だ」と話し散会となりました。



## 第2回 記帳学習会のご案内

日時  
場所  
講師

12月15日(土) 午後1時30分から

村上民商事務所

青木県連事務局長

※参加希望の方は、  
民商へご連絡を。